

事業番号 【1】 4

平成25年度 外部評価 事業評価シート (平成24年度事業の評価)


1. 事業の概要

事業名	【2】	図書館管理運営事業						
事業期間	【3】	開始年度	平成元年度 ~	終了予定年度	—	担当部	教育委員会	
総合計画	【4】	めざまちの姿	1人が育まち			担当課	図書館	
		基本計画【施策】	6 学習・スポーツ活動の環境を充実する (生涯学習・スポーツ振興)			担当係	図書館係	
		成果指標	図書館利用者数(入館者数)			中間目標 (H27)	28万人	
関連予算科目	【5】	一般 会計	10 款	教育費	6 項	社会教育費	9 目	図書館費
		予算事業名	事業1	301 中央図書館管理運営費 302 新居図書館管理運営費				
		事務事業名	事業2	「5. 細事業の評価」に記載のとおり				
位置づけ	【6】	関連計画						
		根拠法令	図書館法、湖西市立図書館条例・同施行規則					
実施主体	【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	【8】	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 (						
対象(誰のため)	【9】	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的 (何のため)	【10】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館管理、図書館業務の効率化を図ることにより快適な施設環境を整える。</li> <li>・子どもをはじめとする市民の読書活動及び情報拠点としての充実を図る。</li> </ul>						
内容(概要)	【11】	<p>【施設の概要】</p> <p>①中央図書館 所在地 吉美3219番地の1 蔵書数172,499冊 AV17,760点(平成23年度末現在)</p> <p>②新居図書館 所在地 新居町新居250番地の5 蔵書数106,229冊 AV 2,380点(平成23年度末現在)</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の生涯学習の拠点施設として、市民の教養、調査、研究のための資料収集を行い、市民の生活、余暇、娯楽などに役立つ情報を提供する。</li> <li>・図書や雑誌等の資料の充実</li> <li>・図書等の貸出管理</li> <li>・図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行う。</li> <li>・設備の保守・改修、システム機器の維持・管理</li> <li>・図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに読書普及活動を行う。</li> <li>・読み聞かせ等のイベント開催</li> </ul>						
これまでの改善・見直しの状況	【12】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規の来館者を増やすため、図書館のPRに努めるとともに、全ての利用者のニーズに応えられるよう蔵書の充実及び図書資料の見やすく探しやすい環境づくりに務めた。</li> <li>・平成14年度から親子のふれあいの時間を大切にしてもらうのと同時に、本に親しんでもらうことを目的として「ブックスタート事業」を実施。</li> <li>・幼児・児童あるいは親子に対して、絵本の読み聞かせ・紙芝居等のお話し会を開催し、読書習慣の形成と図書館の利用促進を図った。</li> <li>・コンピューター及び図書館システムを更新し、図書管理、図書館業務の効率化を図った。</li> </ul>						

2. コスト

【13】

(単位:千円)

		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度支出の内訳
事業費(A)	予算	千円	207,078	62,975	61,944	(決算内訳)
	決算	千円	189,972	60,778		①中央図書館管理運営費
財源内訳	国庫支出金	千円	76,590			図書館運営事業 26,433
	県支出金	千円				図書館施設維持管理事業 12,411
	地方債	千円				図書館活動推進事業 1,460
	その他	千円	786	59	1,000	②新居図書館管理運営費
	一般財源	千円	112,596	60,719	60,944	図書館運営事業 12,391 図書館施設維持管理事業 8,084
人件費(B)		千円	46,377	38,464	45,702	
人工(職員数の内訳)		人	6.16	5.16	6.14	
トータルコスト(A)+(B)		千円	236,349	99,242	107,646	

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

内容		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	入館者数	人	目標	260,000	265,000	270,000
			実績	258,054	255,814	
		達成率	99.3%	96.5%	0.0%	
	貸出冊数	冊	目標	421,000	429,000	437,000
実績			417,809	415,051		
達成率		99.2%	96.7%	0.0%		

実績・改善	【14】 平成24度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書の状況 288,903 冊 (中央図書館 181,500 冊 新居図書館 107,403 冊)</li> <li>入館者数 255,814 人 (中央図書館 154,489 人 新居図書館 101,325 人)</li> <li>貸出冊数 415,051 冊 (中央図書館 300,983 冊 新居図書館 114,068 冊)</li> <li>行事開催実績 お話会 延べ109回 各種イベントの開催 延べ11回</li> </ul>
	【15】 課題・問題点となった事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>書架が手狭で蔵書拡大ができない。</li> <li>施設の利用方法の見直し。</li> <li>開館から20年以上が経過しており、適正な維持管理を行うための計画的な修繕を検討していく必要がある。</li> </ul>
	【16】 課題にどう対処したか(改善等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>書架を増設する事は困難なので、開架室の本の新鮮さを失わないために、古くなった資料を開架書架に移動している。しかし開架書架も手狭になってきているので、廃棄できる資料を選定し、市民へのリサイクル本としている。</li> <li>施設維持に関しては、保守業者と連携を保ち修繕が必要な個所については予算計上を行った。</li> </ul>

【17】 [評価の視点]													
自己評価	<table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td> <input checked="" type="radio"/> A 高い  <input type="radio"/> B どちらかといえば高い  <input type="radio"/> C どちらかといえば低い  <input type="radio"/> D 低い                 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズ、緊急性、法的根拠など市が主体的に実施する必要性は高いか</li> <li>事業実施の意義や必要性が変化していないか</li> <li>惰性的に実施していないか</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td> <input checked="" type="radio"/> A 有効  <input type="radio"/> B どちらかといえば有効  <input type="radio"/> C どちらかといえば有効ではない  <input type="radio"/> D 有効ではない                 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果が上がり、期待したとおりの効果が上がっているか。</li> <li>目標に対しての達成度はどうであったか。(目標設定は妥当であったか)</li> <li>成果に向けた行政の活動量は十分であったか。</li> <li>上位施策への貢献度は高いか。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td> <input type="radio"/> A 効率よく実施している  <input checked="" type="radio"/> B 若干改善の余地があるが、概ね効率よく実施している  <input type="radio"/> C 改善の余地あり  <input type="radio"/> D 大きく改善の余地あり                 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務のOA化や外部委託、その他の方法により業務の効率化を図ることができないか。(成果を下げずに事業費を削減できないか。)</li> <li>実施体制は妥当か。(従事職員数は適正か。)</li> <li>市の他事業に類似した事業はないか、また統合できる可能性はないか。</li> <li>適正な受益者負担を求めているか。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>優先性</td> <td> <input checked="" type="radio"/> A 高い  <input type="radio"/> B どちらかといえば高い  <input type="radio"/> C どちらかといえば低い  <input type="radio"/> D 低い                 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>同一施策内での優先度は高いか。</li> <li>事業を廃止した場合、市民生活や市の他施策・事業に影響があるか。</li> </ul> </td> </tr> </table>	必要性	<input checked="" type="radio"/> A 高い <input type="radio"/> B どちらかといえば高い <input type="radio"/> C どちらかといえば低い <input type="radio"/> D 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズ、緊急性、法的根拠など市が主体的に実施する必要性は高いか</li> <li>事業実施の意義や必要性が変化していないか</li> <li>惰性的に実施していないか</li> </ul>	有効性	<input checked="" type="radio"/> A 有効 <input type="radio"/> B どちらかといえば有効 <input type="radio"/> C どちらかといえば有効ではない <input type="radio"/> D 有効ではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果が上がり、期待したとおりの効果が上がっているか。</li> <li>目標に対しての達成度はどうであったか。(目標設定は妥当であったか)</li> <li>成果に向けた行政の活動量は十分であったか。</li> <li>上位施策への貢献度は高いか。</li> </ul>	効率性	<input type="radio"/> A 効率よく実施している <input checked="" type="radio"/> B 若干改善の余地があるが、概ね効率よく実施している <input type="radio"/> C 改善の余地あり <input type="radio"/> D 大きく改善の余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務のOA化や外部委託、その他の方法により業務の効率化を図ることができないか。(成果を下げずに事業費を削減できないか。)</li> <li>実施体制は妥当か。(従事職員数は適正か。)</li> <li>市の他事業に類似した事業はないか、また統合できる可能性はないか。</li> <li>適正な受益者負担を求めているか。</li> </ul>	優先性	<input checked="" type="radio"/> A 高い <input type="radio"/> B どちらかといえば高い <input type="radio"/> C どちらかといえば低い <input type="radio"/> D 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一施策内での優先度は高いか。</li> <li>事業を廃止した場合、市民生活や市の他施策・事業に影響があるか。</li> </ul>
	必要性	<input checked="" type="radio"/> A 高い <input type="radio"/> B どちらかといえば高い <input type="radio"/> C どちらかといえば低い <input type="radio"/> D 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズ、緊急性、法的根拠など市が主体的に実施する必要性は高いか</li> <li>事業実施の意義や必要性が変化していないか</li> <li>惰性的に実施していないか</li> </ul>										
	有効性	<input checked="" type="radio"/> A 有効 <input type="radio"/> B どちらかといえば有効 <input type="radio"/> C どちらかといえば有効ではない <input type="radio"/> D 有効ではない	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果が上がり、期待したとおりの効果が上がっているか。</li> <li>目標に対しての達成度はどうであったか。(目標設定は妥当であったか)</li> <li>成果に向けた行政の活動量は十分であったか。</li> <li>上位施策への貢献度は高いか。</li> </ul>										
	効率性	<input type="radio"/> A 効率よく実施している <input checked="" type="radio"/> B 若干改善の余地があるが、概ね効率よく実施している <input type="radio"/> C 改善の余地あり <input type="radio"/> D 大きく改善の余地あり	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務のOA化や外部委託、その他の方法により業務の効率化を図ることができないか。(成果を下げずに事業費を削減できないか。)</li> <li>実施体制は妥当か。(従事職員数は適正か。)</li> <li>市の他事業に類似した事業はないか、また統合できる可能性はないか。</li> <li>適正な受益者負担を求めているか。</li> </ul>										
優先性	<input checked="" type="radio"/> A 高い <input type="radio"/> B どちらかといえば高い <input type="radio"/> C どちらかといえば低い <input type="radio"/> D 低い	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一施策内での優先度は高いか。</li> <li>事業を廃止した場合、市民生活や市の他施策・事業に影響があるか。</li> </ul>											
【20】 総合判定	<input checked="" type="radio"/> A <p>〔理由〕                  「事業内容が概ね適切な事業」である。                  ただし、特色ある図書館造りを計画する必要があると思われる。(郷土資料において、中央図書館と新居図書館の特色ある集書計画など)</p>												

### 4. 今後の事業の方向性 (次年度以降に反映)

今後の方向性	【21】 事業の方向性	継続 (現行のとおり)	実施主体	市
	【22】 取組内容 (改善内容)	図書館業務の効率化を図りながら、市民が利用しやすい図書館の環境整備に努める。施設全体を見直し、保管スペースを確保する。 安全で快適な学習環境の場を提供するために、老朽化する施設の整備を図る。 ブックスタート、幼児向け読み聞かせ会等欠席者へフォローの連絡を増やすことにより、参加しやすい環境を整える。		

H24予算の「事業2」事業で、さらに事務事業に分かれている場合、次の細事業ごとに評価する。

## 5. 細事業ごとの評価

NO	細事業名	事業内容・課題	必要性	有効性	効率性	優先性	総合	事業の方向性
中央図書館								
1	図書館運営事業	図書や雑誌等の資料の充実。 書架が手狭で蔵書拡大ができない。	A	A	A	A	A	継続 (現行のとおり)
2	図書館施設維持管理事業	設備の保守・改修、システム機器の維持・管理。 施設の利用方法の見直しが必要。	A	A	B	A	A	継続 (現行のとおり)
3	図書館活動推進事業	読み聞かせ等のイベント開催。 欠席者へのアフターフォロー対策の検討。	A	A	A	A	A	改善 (一部廃止)
新居図書館								
1	図書館運営事業	図書や雑誌等の資料の充実。 閲覧場所が手狭である。	A	A	A	A	A	継続 (現行のとおり)
2	図書館施設維持管理事業	設備の保守・改修。 施設の利用方法の見直しが必要。	A	A	A	A	A	改善 (一部廃止)

# 湖西市立図書館主要事業実績

## 中央図書館

## 新居図書館

## 中央+新居

### ●開館状況

	H22年度	H23年度	H24年度
開館日数	304	296	303
来館者数	166,114	161,014	154,489

	H22年度	H23年度	H24年度
開館日数	304	296	303
来館者数	101,042	97,040	101,325

	H22年度	H23年度	H24年度
開館日数	304	296	303
来館者数	267,156	258,054	255,814

### ●資料購入

種別	H22年度	H23年度	H24年度
図書(冊)	5,401	5,749	5,946
AV資料(点)	149	124	148
雑誌(冊) (種)	1287 (79)	1271 (81)	1249 (79)
新聞購入(種)	11	11	10

	H22年度	H23年度	H24年度
図書(冊)	2,050	2,359	2,186
AV資料(点)	52	72	71
雑誌(冊) (種)	656 (51)	685 (51)	692 (56)
新聞購入(種)	6	6	6

	H22年度	H23年度	H24年度
図書(冊)	7,451	8,108	8,132
AV資料(点)	201	196	219
雑誌(冊) (種)			
新聞購入(種)			

### ●登録者数

	H22年度	H23年度	H24年度	
個人登録者数	25,941	37,620	38,141	
内訳	一般	23,314	34,480	35,199
	児童	2,627	3,140	2,942
団体登録数	22	24	24	

	H22年度	H23年度	H24年度
個人登録者数	10,915	(中央館に統一)	
内訳	一般	9,675 (中央館に統一)	
	児童	1,240 (中央館に統一)	
団体登録数	31	46	42

	H22年度	H23年度	H24年度	
個人登録者数	36,856	37,620	38,141	
内訳	一般	32,989	34,480	35,199
	児童	3,867	3,140	2,942
団体登録数	53	70	66	

### ●図書貸し出し状況

	H22年度	H23年度	H24年度	
総貸出冊数	301,767	298,605	300,983	
内訳	一般	127,900	130,252	128,050
	児童	133,027	128,331	133,233
	雑誌	22,065	22,262	21,937
	AV(点)	18,775	17,760	17,763

	H22年度	H23年度	H24年度	
総貸出冊数	126,034	119,204	114,068	
内訳	一般	52,164	51,099	47,748
	児童	55,121	51,656	49,815
	雑誌	8,718	8,152	8,085
	AV(点)	10,031	8,297	8,420

	H22年度	H23年度	H24年度	
総貸出冊数	427,801	417,809	415,051	
内訳	一般	180,064	181,351	175,798
	児童	188,148	179,987	183,048
	雑誌	30,783	30,414	30,022
	AV(点)	28,806	26,057	26,183

### ●蔵書状況

	H22年度	H23年度	H24年度	
蔵書冊数	176,473	179,195	181,500	
内訳	一般	110,527	112,096	113,353
	児童	53,538	54,470	55,285
	雑誌	5,766	5,933	6,046
	AV(点)	6,642	6,696	6,816

	H22年度	H23年度	H24年度	
蔵書冊数	108,048	108,609	107,403	
内訳	一般	74,160	74,522	73,225
	児童	28,033	28,460	29,145
	雑誌	3,399	3,247	2,572
	AV(点)	2,456	2,380	2,461

	H22年度	H23年度	H24年度	
蔵書冊数	284,521	287,804	288,903	
内訳	一般	184,687	186,618	186,578
	児童	81,571	82,930	84,430
	雑誌	9,165	9,180	8,618
	AV(点)	9,098	9,076	9,277

## ●ビデオ劇場の開催 ※中央のみ

	H22年度	H23年度	H24年度
開催回数	53	49	46
参加人数	552	549	304

## ●お話し会

絵本の読み聞かせやわらべうた、エプロンシアターなどいろいろな形でお話をしています。

(日によって内容は変わります)

	H22年度	H23年度	H24年度	
毎土曜日	実施回数	48	47	47
	参加人数	536	548	518
第1・3木	実施回数	14	24	24
	参加人数	399	595	431

H22年度	H23年度	H24年度
19	17	18
296	234	238
20	22	23
460	508	443

H22年度	H23年度	H24年度
67	64	65
832	782	756
34	46	47
859	1103	874

## ●ブック・スタート

<b>【対象】</b>	4ヶ月の赤ちゃんの保護者 対象となる月に参加できない場合は他の開催日にご参加できる
<b>【内容】</b>	赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介と読み聞かせについてのお話 おすすめ絵本のプレゼント(3冊)
<b>【会場】</b>	中央図書館2階 学習研修室 新居図書館1階 和室
<b>【時間】</b>	11時開始(30分程度)
<b>【その他】</b>	中央図書館のみ託児あり (2人以上のお子さんをご来館された場合)

	H22年度	H23年度	H24年度	
ブック・スタート	実施回数	12	12	12
	参加人数	281	243	250

H22年度	H23年度	H24年度
6	12	12
37	116	114

H22年度	H23年度	H24年度
18	24	24
318	359	364

## ●ブック・スタートパック

	H22年度	H23年度	H24年度	
対象人数	387	387	499	
内	配布人数	265	304	391
	配布率	68.5%	78.6%	78.4%

H22年度	H23年度	H24年度
149	124	(中央に統一)
82	94	(中央に統一)
55.0%	75.8%	(中央に統一)

H22年度	H23年度	H24年度
536	511	499
347	398	391
64.7%	77.9%	78.4%

# 湖西市立図書館主要事業実績(平成24年度)

## ●資料貸出数年齢内訳

男性 乳幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 (人)

	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～30	31～40	41～50	51～60	61～	合計
中央	1,898	3,863	466	218	254	772	2,377	3,450	3,487	8,443	25,228
西公	29	158	17	2	1	13	60	95	88	293	756
北多	23	52	1	0	3	3	1	5	2	10	100
新居	683	2,070	283	104	90	460	1,018	1,481	1,417	4,664	12,270
合計	2,633	6,143	767	324	348	1,248	3,456	5,031	4,994	13,410	38,354

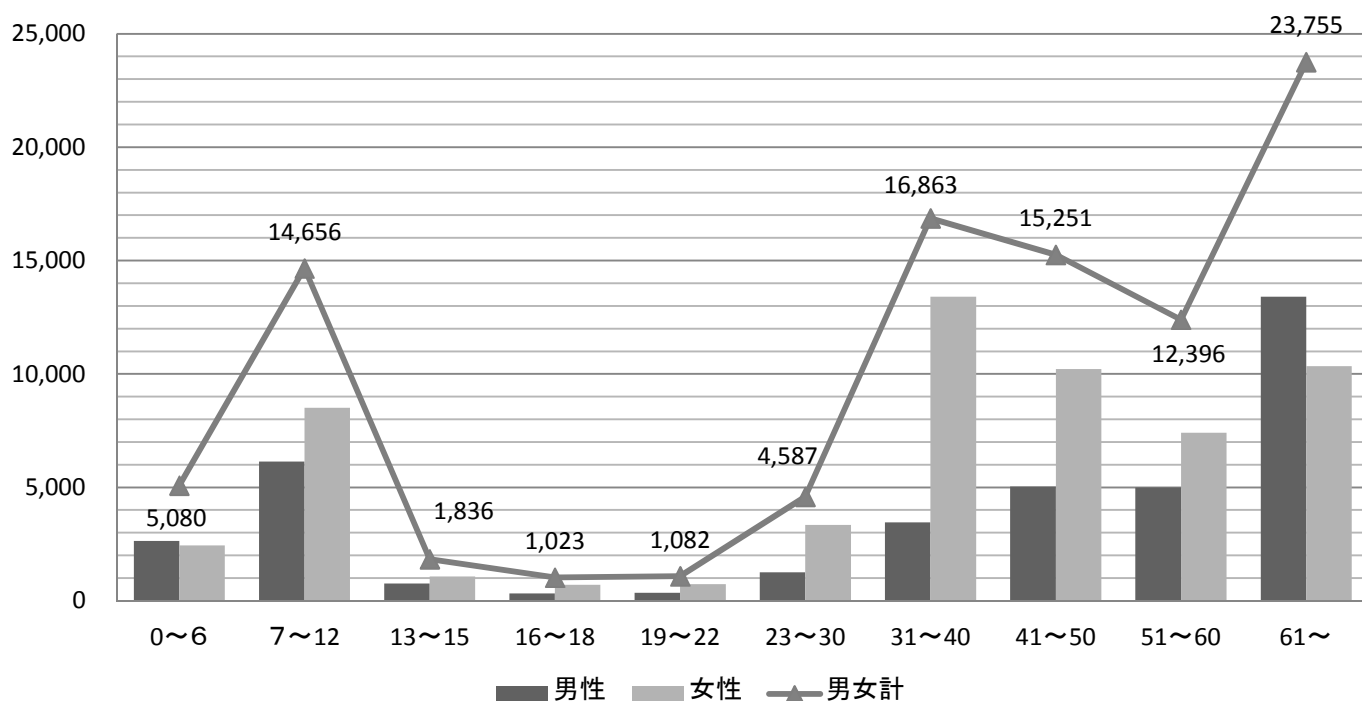
女性 乳幼児 小学生 中学生 高校生 大学生

	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～30	31～40	41～50	51～60	61～	合計
中央	1,501	5,652	700	422	494	2,304	9,661	6,902	4,847	6,239	38,722
西公	133	183	15	4	12	81	432	415	279	349	1,903
北多	7	25	3	0	0	10	44	83	75	15	262
新居	806	2,653	351	273	228	944	3,270	2,820	2,201	3,742	17,288
合計	2,447	8,513	1,069	699	734	3,339	13,407	10,220	7,402	10,345	58,175

総合計 乳幼児 小学生 中学生 高校生 大学生

	0～6	7～12	13～15	16～18	19～22	23～30	31～40	41～50	51～60	61～	合計
中央	3,399	9,515	1,166	640	748	3,076	12,038	10,352	8,334	14,682	63,950
西公	162	341	32	6	13	94	492	510	367	642	2,659
北多	30	77	4	0	3	13	45	88	77	25	362
新居	1,489	4,723	634	377	318	1,404	4,288	4,301	3,618	8,406	29,558
合計	5,080	14,656	1,836	1,023	1,082	4,587	16,863	15,251	12,396	23,755	96,529

## 男女年齢別貸出数分布



## 湖西市立図書館予約種別統計(平成24年度)

資料③

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務(中央)	予約数	271	370	287	447	400	313	305	318	257	310	287	343	3,908
	取消数	17	30	32	54	85	33	16	19	16	22	38	24	386
	実予約数	254	340	255	393	315	280	289	299	241	288	249	319	3,522
業務(西公)	予約数	9	0	2	2	7	9	7	2	4	3	7	6	58
	取消数	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	実予約数	9	0	2	2	6	9	6	2	4	3	7	6	56
業務(北多)	予約数	0	0	2	3	0	0	0	2	3	1	0	0	11
	取消数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実予約数	0	0	2	3	0	0	0	2	3	1	0	0	11
業務(新居)	予約数	128	127	93	110	126	117	83	111	77	98	94	110	1,274
	取消数	8	6	1	4	9	1	0	10	4	6	1	3	53
	実予約数	120	121	92	106	117	116	83	101	73	92	93	107	1,221
タッチ(中央)	予約数	79	84	65	105	95	75	40	45	44	69	70	86	857
	取消数	2	11	4	4	9	2	1	9	1	6	3	4	56
	実予約数	77	73	61	101	86	73	39	36	43	63	67	82	801
タッチ(新居)	予約数	45	33	33	33	54	30	26	22	32	35	30	49	422
	取消数	0	1	4	1	2	3	1	2	2	0	1	2	19
	実予約数	45	32	29	32	52	27	25	20	30	35	29	47	403
web以外小計	実予約数	505	566	441	637	576	505	442	460	394	482	445	561	6,014
Web外	予約数	419	431	413	441	448	493	541	541	469	544	512	531	5,783
	取消数	19	13	10	13	14	19	21	34	17	21	15	21	217
	実予約数	400	418	403	428	434	474	520	507	452	523	497	510	5,566
携帯Web	予約数	9	46	21	29	21	11	22	18	12	18	7	19	233
	取消数	0	3	4	0	0	0	1	0	1	0	0	1	10
	実予約数	9	43	17	29	21	11	21	18	11	18	7	18	223
web小計	実予約数	409	461	420	457	455	485	541	525	463	541	504	528	5,789
総合計		914	1,027	861	1,094	1,031	990	983	985	857	1,023	949	1,089	11,803



## 平成25年度 湖西市外部評価 質疑応答要旨

事業名 図書館管理運営事業

質問内容	回 答
図書館のシステムの刷新により利用者層等のデータがわかるようになったが、今後どのように入館者や貸し出しを増やしたり、本を充実させるために、どのように活かしていくのか。	図書館システムからは、委員の言われるとおり様々な統計が出力できます。その統計資料をいかに分析して利用者サービスに反映させていくかが、今後の検討課題と考えています。また西部公民館、北部多目的センターなどの地区館の資料充実と活用を、検討していく必要があると考えます。
館内で、どのような工夫をして資料の貸し出しを促しているか。	特集コーナーとして、例えば8月には平和関連、9月には防災関連など、毎月時期に応じた資料を展示したり、本棚においては利用者が本を探しやすいように、分かりやすいサインを作成し書架案内を行っています。
メディアに取り上げられた本や注目の本のディスプレイ等は行っているのか。	基本的に話題になるような本は、貸出しされていることが多いので、ディスプレイできる状況にはありません。代わりに例えば文学賞を受賞した作家の作品の特集コーナーを設置するなどの工夫をしています。
活字離れが叫ばれている中で、小・中・高生に対する図書館利活用のPRがダイレクトに行えれば、若者の利用が増え、活字文化の向上が期待される。小・中・高生に対する図書館事業のPR方法を伺いたい。	中・高・大の利用が少ないというのは、どこの図書館も抱える切実な問題であります。年2回学校図書主任連絡会を開催し、小中高の担当の先生に集ってもらい、生徒たちの読書の傾向や図書館の学校に対する取り組みへの意見を聴取して連携を取っています。学校に対してのPRとしては、図書館にまずは来てもらえるよう、イベント開催のお知らせパンフレットを学校に配布して、周知を図っています。
ビデオ劇場の開催回数が46回で参加人数が304人とのことだが、図書館に行ってもビデオ劇場は、子供向けのもが多く、大人がなかなか参加しづらい状況に感じる。ケーブルテレビで湖西市の情報が発信されていて、「広報こさい」や「議会中継」「湖西歌舞伎」など、録画した情報や湖西市の観光情報DVDなど図書館で見られたらと思うのだが、そんな取り組みは行っているのか。開催回数が年に46回というのも少ないように思うので、有効活用を進めてほしい。	当初は集客目的で実施してきた事業ですが、大衆の前にして放送することは「上映」となるため、多くの資料に著作権の制約がかかっており、実際に上映できるものは非常に少ないです。湖西に関する映像資料は出来る限り収集しており、ビデオでの資料についてはデジタル化を図っていきたいと考えています。今後は各課やケーブルテレビと調整を図りながら、眠っている資料の発掘や、デジタル資料を作成した折には、図書館資料として登録し、市民の皆様に関開したいと考えます。図書館の部屋は一般への貸し館はできませんが、社会教育関係団体等へは無料で使用を許可できますので、PRをして使用頻度を上げていきたいと考えます。
今後、高齢者層が増加するものと思われるが、高齢者等で車等を利用できないため本を借りたくても借りることのできない方向けの市民向けのサービスを、どのように考えているのか教えてほしい。	図書館に車等で来られない方へは、かつて実施していた自動車文庫や配本のサービスなどが考えられますが、利用状況や経費面からの検討も必要なので、当面はコーちゃんバスの利用と、北部多目的センター図書室や西部公民館図書室の活用をPRしていきたい。
湖西市は外国人の住民が多いと思うが、今後、外国人利用者に対するサービスを行う予定はあるか。	英語・ポルトガル語の利用案内をカウンターに用意している他、本の検索システムでも英語・ポルトガル語に対応しています。その他については直接図書館で対応するのは難しいため、要望があれば国際交流協会を通じて要望を伝えていただくよう、協会へも声掛けしている。
図書館のウェブサイトには翻訳機能がないようだが、対応はしないのか。	ウェブサイトの見直しの中で検討したい。



# 平成25年度 湖西市外部評価 質疑応答要旨

事業名 図書館管理運営事業

質問内容	回 答
図書館の役割は、生涯学習の拠点であると考えますが、役割についてどのように捉えているのか。	情報の拠点として本や資料の貸し借りが一般的な図書館に対する感覚であると思うが、それだけではなく調べ物や知識を深めるための道しるべとなることも重要な役割だと考える。
中央図書館と新居図書館は、市民の生涯生活の拠点施設として、親子のふれあいの時間を大切にしてもらおう為に「ブックスタート事業」を行っているが、どんな風にされているのか新聞記事や広報こさいなどに一般市民にも情報発信はされているのか。	平成14年から、生後4か月の赤ちゃんを対象に、絵本を通してより親子のふれあいを深め、本に親しむきっかけづくりとして、講師を招いて実施しています。8冊ほどの本の中から3冊を選んでもらいお渡ししていて、出席者のアンケート結果を見ても、好評であります。情報としては、広報こさい、ウェブサイトにおいて、開催日や対象者を公開しています。実施内容等の情報発信については、月に1度定期的に行っている事業なので、特別なイベントという認識ではないため、特別なPRはしていません。

## 評価結果詳細

事業名	4 図書館管理運営事業	外部評価結果（評価員10人）				
事業内容	<p><b>【施設の概要】</b>                      ①中央図書館 所在地 吉美3219番地の1                      蔵書数172,499冊 AV17,760点(平成23年度末現在)                      ②新居図書館 所在地 新居町新居250番地の5                      蔵書数106,229冊 AV 2,380点(平成23年度末現在)</p> <p><b>【事業の概要】</b>                      ・市民の生涯学習の拠点施設として、市民の教養、調査、研究のための資料収集を行い、市民の生活、余暇、娯楽などに役立つ情報を提供する。                      ・図書や雑誌等の資料の充実                      ・図書等の貸出管理                      ・図書館の利用者に安全で快適な空間を提供することを目的に施設の維持管理を行う。                      ・設備の保守・改修、システム機器の維持・管理                      ・図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに読書普及活動を行う。                      ・読み聞かせ等のイベント開催</p>	A	B	C	D	E
		継続	改善			廃止
			その他	一部改善	実施主体の変更	
		6	4	0	0	0
評価理由・改善案  主な意見（評価員）	<p><b>【A 継続】6人</b>                      ・高齢者、学生(児童)、外国人といった各々のニーズに沿ったサービスの提供を今後も進めていくべき。学生は自分の学校や大学の図書館を利用することが多いと思うが、他に意見があったように、湖西市立図書館にしかない特色を活かしていく必要がある。特色を知っていただくためには、やはり情報発信をこれまで以上に進めていくべき。                      ・グラフで大学生等の利用数が少ないとあるが、郷土資料等をもう少しボリュームを持たせ、地域の独自性を打ち出したらどうか。学生はレポート作成に自分の学校の図書館を使うので、学校と図書館の連携をしたらどうか。また学習室の冷暖房をきちんとつけていただきたい。ブックスタートの事業は、ぜひさらに推進をしてほしい。                      ・誰をターゲットにするのか絞ってもよいのでは。湖西市ならではの資料                      ・書籍の充実を進めるべき。開架・閉架・手狭対策として、電子書籍化の推進を検討してみてもどうか。選択と集中の意味も込めて、ブックスタート事業も対象者は限られてはいるが、広報に積極的に掲載してほしい。                      ・ヤングアダルト層へのPRを強化し、貸出実績の増加につなげるべき。                      ・図書館に来ない人、出られない親子(幼児)に向けた出前による読書活動の推進を図ってみてはどうか。小学校低学年までの読み聞かせ活動を重視するため、保育園・幼稚園・小学校との連携強化による読書活動の推進を図ってみてはどうか。                      ・市民生活の拠点施設としてより一層の充実をお願いしたい。</p> <p><b>【B 改善:その他】4人</b>                      ・図書館の役割から事業シートの内容を充実させていった方がよいのではないかと。外部委託も全国的に進んでいる中、直営で行う意義を示していく必要があるのでは。                      ・今後の取組み内容が、設備的なものに重点があるように見えるが、イベント・サービスの充実等、入場者増員に対する工夫が必要ではないか。                      ・データに基づいた貸出利用の多い年代に合った本の充実を図ってほしい。データを活かした効率的な運用をして特色のある事業にしてほしい。                      ・図書館においても湖西市らしさを出してほしい。中央図書館に行けば豊田佐吉や自動車の本がどこよりもたくさんある。新居図書館には関所に関する本があるなど、小学生が歴史や地域を学ぶときに活用したり、大学生が研究で使えたりすると利用者増につながるのでは。</p>					